

【施策番号 I-3-06】

分野	戦略	「記憶に残る観光地」歴史回廊くまもと
経済上昇くまもと	重点的に取り組む施策	歴史回廊くまもと観光立県の推進

1 施策の概要 (PLAN)

(1)背景	④取組みの概要
<p>●近年の観光宿泊客数は、熊本城築城400年関連イベントや外国人宿泊客数の増加等により平成18年、19年と連続して増加したものの、平成20年は、原油高や世界同時不況の影響により減少に転じた。</p> <p>●外国人宿泊客数は、韓国、台湾等アジア諸国を中心に平成13年以降増加傾向にあったが、平成20年は、世界同時不況の影響により8年ぶりに減少に転じた。</p>	<p><b>【①歴史と文化の薫り高い観光地熊本を形成する戦略】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本県固有の歴史遺産、自然風土、伝統文化等の観光資源を「歴史回廊」として結びつけ、競争力の高い観光地を形成する。</li> <li>・歴史回廊を形成する地域固有の観光資源を素材とした新たな旅行ルートの開発。</li> </ul> <p><b>【②訪ねてよし住んでよしの熊本おもてなし戦略】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・来訪者の満足度向上を図るため、県民一人ひとりが来訪者を温かく迎える県民参加によるおもてなし運動の展開支援や人材の育成を行う。</li> <li>・来訪者にやさしい案内表示等の整備</li> </ul> <p><b>【③発信力を強化し国内外から熊本に人を招く戦略】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な媒体を活用した恒常的な情報発信による認知度向上と、KANSAI戦略をふまえた誘客戦略の展開</li> <li>・東アジアを中心としたインバウンドの促進に向けたセールスプロモーションの強化</li> </ul>
(2)めざす姿	
<p>●雄大な自然や豊かな歴史遺産など、多彩で魅力的な観光資源を最大限に活用した「『記憶に残る観光地』くまもと」をめざす。</p>	
(3)解決すべき課題	
<p>●世界同時不況に伴う景気低迷によって減少した観光客数の回復。</p> <p>●九州新幹線開業効果を最大化するための、関西以西の都市圏からの誘客促進とおもてなし等受入体制の充実。</p> <p>●観光客の周遊性の向上、滞在時間の延長等による、観光消費額の拡大。</p>	

2 施策の主な構成事業 (DO)

取組みの概要	担当課	平成21年度事業/決算 (千円)		平成22年度事業/当初予算 (千円)	
歴史と文化の薫り高い観光地熊本を形成する戦略	観光交流国際課	ようこそくまもと観光立県推進計画展開事業(歴史回廊くまもと魅力発見事業ほか)	31,000	ようこそくまもと観光立県推進計画展開事業(歴史回廊くまもと魅力発見事業ほか)	26,800
	港湾課	三角港みなと振興交付金事業	0	三角港みなと振興交付金事業	109,000
訪ねてよし住んでよしの熊本おもてなし戦略	観光交流国際課	ようこそくまもと観光立県推進計画展開事業(観光立県県民運動展開事業ほか)	17,425	ようこそくまもと観光立県推進計画展開事業(観光立県県民運動展開事業ほか)	17,751
	自然保護課	自然公園(観光)施設UD整備事業(全ての人が使いやすい施設等の改修整備)	22,507	自然公園(観光)施設UD整備事業(全ての人が使いやすい施設等の改修、整備)	2,677
発信力を強化し、国内外から熊本に人を招く戦略	観光交流国際課	ようこそくまもと観光立県推進計画展開事業(新幹線開業準備キャンペーンほか)	110,988	ようこそくまもと観光立県推進計画展開事業(新幹線開業直前及び開業キャンペーンほか)	203,060
		ようこそくまもと観光立県推進計画展開事業(外客誘致トップセールス事業ほか)	19,198	ようこそくまもと観光立県推進計画展開事業(東アジア集中プロモーション事業ほか)	32,988
		中国・広西トップセールス事業	3,366	中国・広西トップセールス事業	7,200
		—	—	忠清南道・大百済典トップセールス事業	10,973

3 施策の評価 (CHECK)

(1)指標の推移						
指標(単位)	策定時	H21	H22	H23	目標値	目標値の説明
1 観光宿泊客数(万人/年) [熊本県観光統計]	691 (H19) 〈達成度〉	691 (H19) 92.1%	680 (H20) 90.7%		750	「ようこそくまもと観光立県推進行動計画(2008-2011)」に掲げる数値
2 外国人宿泊客数(万人/年) [熊本県観光統計]	40 (H19) 〈達成度〉	40 (H19) 72.7%	36 (H20) 65.5%		55	「ようこそくまもと観光立県推進行動計画(2008-2011)」に掲げる数値

(2)指標の分析  
指標としている熊本県観光統計(平成21年)は現在集計中であるが、参考として、平成21年の「宿泊旅行統計調査(観光庁)」によると、世界同時不況や新型インフルエンザの影響等により全国的に宿泊客数が落ち込み、本県においても、外国人客の大幅な減少(対前年47.7%減)等により、宿泊客数は減少した(対前年比4.7%減)。

(3)平成21年度の取組みの主な成果

- 【①歴史と文化の薫り高い観光地熊本を形成する戦略】**
- ・「歴史回廊くまもと魅力発見の旅」(「熊本城400年と熊本ルネッサンス県民運動本部」企画・運営)(天草他8コース)
  - ・くまもと再発見の旅(九州産交ツーリズムの旅行商品企画立案支援)(「子守唄の里 五木村探訪」他2コース24本)
- 【②訪ねてよし住んでよしの熊本おもてなし戦略】**
- ・各地域観光推進協議会が主催する地域の実情に即した接遇研修の開催を支援。(延べ820人参加)
  - ・地域づくり団体や観光関連団体が行う景観保全や環境美化等のおもてなし活動を支援。(41団体へ7,800千円を助成)
  - ・熊本の玄関口における「おもてなし効果」を上げるため、阿蘇くまもと空港、熊本港、天草空港に熊本ゆかりの人物や祭り等、観光素材を活かしたディスプレイ等を設置。
  - ・自然公園内のトイレ・駐車場等のうち21カ所31施設を、障がい者や高齢者をはじめ誰もが使いやすい施設に改修、整備。
- 【③発信力を強化し国内外から熊本に人を招く戦略】**
- ・着地型の情報発信(目的地側からの積極的な観光素材提案)による「ぐるっとくまもと夏旅キャンペーン」やスザン又宣伝部長を起用したJRとのタイアップ・キャンペーン「くまもと最高ザンス観光キャンペーン」など、新幹線全線開業準備キャンペーンを実施
  - ・外国人観光客誘致に向け、九州観光推進機構等と連携し、旅行会社への説明会やトップセールス等を実施(広西壮族自治区との交流覚書調印、シンガポール知事トップセールス、ASEAN博覧会への出展、「百済文化と鞠智城」シンポの開催)

(4)平成22年度の取組み方針、取組み状況

- 【①歴史と文化の薫り高い観光地熊本を形成する戦略】**
- ・「我がまちの宝」の旅行商品化を推進すると共に、個人、小グループが楽しめる地域性の高い観光素材(着地型観光素材)を活用した旅行商品を造成する。
  - ・「九州・山口の近代化産業遺産群」の一つ三角西港で遊覧船発着用の浮桟橋工事、緑地等の用地買収に着手する。
- 【②訪ねてよし住んでよしの熊本おもてなし戦略】**
- ・「県民総参加のおもてなし運動」の取組みとして、引き続き地域づくり団体や観光関係団体によるおもてなし活動への支援、接遇研修などを実施。
  - ・阿蘇、天草地域の自然公園施設において4カ国語(日、英、中、韓)表記による公園案内標識等の整備を行う(6カ所)。

**【③発信力を強化し国内外から熊本に人を招く戦略】**

- ・新幹線開業に向け、旅行先として熊本を選択してもらうために、関西以西を主なターゲットに、開業の半年前からJR西日本等と全面的にタイアップした観光キャンペーンを展開する。
- ・知事トップセールスをはじめとして、韓国、中国、台湾、香港、シンガポールなどにおいて現地セールス活動等を行うとともに旅行会社を招へいた商談会・視察旅行等を実施し、海外からの誘客を促進する。

(5)施策を推進する上での課題

- ・新幹線開業を契機とした交流人口の拡大に向けた、「おもてなし」による来訪者満足度の向上や、観光案内機能の充実
- ・国内外における熊本の認知度向上と誘客促進のための、上質な観光情報の恒常的な発信や競争力の高い旅行商品づくり
- ・個人旅行化が進む外国人旅行者の利便性向上に向けた受入体制の整備

4 今後の方向性 (ACTION)

次年度に向けた施策展開の方向性

- ・何度も訪れたい観光地くまもとを目指し、関係機関・団体等と連携し、おもてなしの向上や案内表示の充実等による来訪者満足度の向上を図る。
- ・新幹線開業効果を最大化するため、本県の多様な観光資源や豊かな県産品の認知度を高め、関西以西を中心に都市圏からの交流人口拡大を促進する。
- ・海外の旅行社・メディアへのプロモーション活動や海外向けHP等、様々なチャンネルを活用した情報発信と誘客に努めるとともに、個人・少人数グループ旅行や団体など、多様化する旅行スタイルに対応する受入体制の整備を図る。